

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

師走空ほほかぶりして畑へ行く在りし日の母
ふとよみがへる 阿部みさ子
共に歩くと約せし路は段差あり躓きながらも
転ぶことなく 遠藤 行夫
庭の柚子棘傷あれどこの香りふるさとの味を
柚子の湯に飲む 鈴木 茂子
川べりの柳の枝のみのむしも日向を求めクル
クル移動 遠藤 舞
書き初めに白い小さな花を描くほのかに紅を
ふくませながら 石田みどり
初雪を歓声あげて乙女らは空を見上げて口に
受くるなり 後藤今朝雄
友らみな子の父として無精髭も気にせずにい
る齢となりぬ 大槻 きよ
おさなき大家族大勢正月は大黒柱に餅花咲か
す 高子たちばあ
新年は健康ねがひ芹摘みて七草粥に春の香を
かぐ 八嶋 正子
正月はあふるるほどの湯をはりてちよいぜい
たくな朝湯楽しむ 佐藤 啓子
【評】一首目、老いれは「ふと」の連続だと言
う。今、こころの中の母と共に仕事に向かう。
二首目、人生をも思わせるが、いつもの路
を励まし合って歩むお二人と解しておこう。
三首目、柚子への思いが素朴に出ていて、
親しめる歌。

俳壇

遠藤 秋尾 選

除夜の鐘消えゆく音の深さかな 福原 峯子
白銀に輝く蔵王御代の春 岩澤 伍峯
算盤のやうに干しふるる凍み豆腐 服部 忠孝
朝の日に脆く崩れし軒つらら 岩松 隆志
くれなるに光はじて冬蕎麦 寺崎 悦子
休診札外す町医の四日かな 斎藤 典子

風間市長の風のことわざ

「芸能人」

年始には、映画界でも活躍している、歌舞伎役者の「中村獅童さん」とお会いしました。碧水園開館20周年特別企画への出演で来白した中村さん。レックドクリフなど映画でのイメージが強く、豪放磊落の勇ましい方かと思っていました。とても繊細で気配りのあるすてきな紳士でした。

もチャームिंगな女性です。奥州片倉組という男の武将隊に一輪の可憐な梅の華が加わったことで、雪月花を愛でる優しさとか知的さが加味され、成熟された武将隊に飛躍したように感じました。これから、さらなる活躍をされるのではないかと、今からとても楽しみです。



▲1月15日の「阿梅姫」認定式

当たりにすると驚きを感じます。だからこそ魅力的で夢があり、たくさんの方ファンを魅了するのでしょね。華やかな世界の中にあってもお二人とも人柄が良く魅力にあふれ、今後も応援したくなりました。

また、白石戦國武将隊「奥州片倉組」に真田幸村公のご息女で、片倉小十郎重長公の後妻となった「阿梅姫」が正式に加入しました。この方は関東在住で、小袖の和服がお似合いの、とて

来白者は、知識と充実感を得て、市民は潤いを受けます。そのためにも、「白石に来て良かった」と満足してもらえようお互いに汗を惜しまずかきましよう。

柳壇

四電 英夫 選

初日の出蔵王大きく輝けり 高子たちばあ
老のしわのびる心地の柚子湯かな 制野 リエ
山眠る古典学びし師の逝きて 大庭美智子
冬ぬくし犬との散歩足からし 遠藤 忠臣
【評】一句目、除夜の鐘の余韻に、過ぎし一年を振り返る。音の深さが良い。
二句目、蔵王の雪の輝き、天皇の御代を寿ぐ春の慶びの一句。良い年であるように願いを込めて。
三句目、凍み豆腐の干されている景を、算盤のようだと表現された。
4月3日(日)13時より、「市民俳句初心者講座」をふれあいプラザで開きます。詳しくは18ページをご覧ください、ぜひご参加ください。

宝くじ年の初めのゴミとなる 遠藤 行夫
寝正月こんな倅せ他に無し 斎藤 典子
年重ねよろこぶ人といらぬ人 佐藤 啓子
生きている証しの屠蘇を酌まざる 高子たちばあ
主義主張今年はすると書く日記 大庭 良子
寒に咲く梅と言われし頃もあり 石田みどり
運転は歳相応を忘れまい 水戸 光穂
方言を使いこなして風の里 阿部はぎの
伊達直人善意の連鎖なお続く 寺崎 悦子
あなた誰帽子目深にマスクつけ 大庭美智子
お月様寒さしのぎの雲かふる 村上 照夫
【評】一句目、宝くじに当たる確率は、気の遠くなるような数字。でも買わないくじに当たったためしはない。「偶然に賭ける長蛇のくじ売り場」
二句目、三が日を寝て過ごす。こんな幸せはない。健康であればこそである。「世の中に寝るより楽はなかりけり」
三句目、今年は待ちに待った一年生と喜ぶ人もいれば、また一つ年を重ねたと、浮かない人も。人生いろいろ咲き乱れ…。

—思いやりのある良質で信頼される医療を目指して—

公立刈田綜合病院紹介



リハビリテーション科紹介(言語聴覚療法)

言語聴覚士 齋藤 祥恵

当院のリハビリテーション科は、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の4職種で構成されています。今回は「言語聴覚士」についてご紹介します。

「言語聴覚士」という名称が使われ始め、国家資格となつて11年。国家資格化される以前からあった職種ですが、理学療法士や作業療法士に比べてなじみが薄く、「初めて聞いた」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私たちは普段、「話す」「聴く」ことでコミュニケーションを取っていますが、いろいろな原因により、「話す」「聴く」という機能が損なわれることがあります。

言語聴覚士は、この「言葉」によるコミュニケーションの問題を専門的に支援し、その



▲言語聴覚士による言語訓練の様子

方らしい生活が送れるようリハビリテーションを通じてお手伝いしています。

また、食べ物を飲み込む運動（嚥下）に対しても、専門的にリハビリテーションを行っています。人が健康に生きていく中で、食事は大切な要素です。その食事を「安全」に「楽しく」取っていただけるようお手伝いさせていただきます。

第36回ロビーコンサートを開催しました

1月26日、「第36回ロビーコンサート」を1階中央ロビーで開催しました。今回は、白石高校箏曲部の皆さんが、患者さんやその家族など約50人を前に、「涙そうそう」や「大きな古時計」など4曲を次々に披露。優雅な琴の響きに来場者は、琴の音色に合わせ演奏曲を口ずさむなど、楽しいひとときを過ごしていました。



▲患者さんの心を癒やす部員たち

まちの話題

～あの日、あの時～

1本の綱が「きずな」を深める！ 第20回市民綱引き大会

2月6日、「第20回市民綱引き大会」をホワイトキューブで開催しました。今年の大会には、小学生の部に14チーム、中学生の部に11チーム、一般の部に8チームの合計33チーム約380人が出場。1本の綱にありったけの力を込めて優勝を目指しました。

大会は、白石第二小学校6年の富岡めぐみさんと佐藤広太さんの力強い選手宣誓でスタート。熱戦に次ぐ熱戦の末、小学生の部は「白石第一小学校」、中学生の部は白川中学校の「Endless fighters」、一般の部は「大笑い」が優勝を飾りました。中でも、「白石第一小学校」は無敗での優勝。「大笑い」は2連覇となりました。

どのチームも「団結力」では負けない、互いの「きずな」を深める大会となりました。



1_小原小中学校の先生たちで出場したOBR19 2_白石中学校の先生たちで出場した白中堂々 3_白石第一小学校 4_富岡めぐみさん(左)と佐藤広太さんが力強い選手宣誓 5_大鷹沢小学校A 6_勝利に喜ぶ白石ヨッシャーズA